

平成29年度中間市地域公共交通網形成計画推進事業

事業報告書（1／2）

～コミュニティバスに関するモニタリング及び
中間市地域公共交通会議の運営支援～

平成30年3月



株式会社 ケー・シー・エス 九州支社

目次

1. 底井野校区コミュニティバス「なかよし号」利用実態に関するアンケート調査.....	1
1-1 アンケート調査.....	1
2. モニタリング.....	30
2-1 運行状況	30
3. 中間市地域公共交通会議の運営支援.....	39
3-1 地域公共交通会議の流れ	39
3-2 会議での決定事項等	40

1. 底井野校区コミュニティバス「なかよし号」利用実態に関するアンケート調査

底井野校区を運行するコミュニティバスに対し、運行から1年経過後の評価・検証を行う。また、モニタリングの検証に必要となるデータの収集及び底井野校区コミュニティバスに対する住民のニーズを把握するため、アンケート調査を行い、公共交通不便地の改善に向けた検討を行った。

1-1 アンケート調査

1. 調査概要

(1) 調査の目的

底井野校区コミュニティバスのモニタリング及び底井野校区コミュニティバスに対する住民ニーズの把握のために、底井野校区の住民を対象としたアンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

本調査は底井野校区 1,371 世帯を対象に調査を行った。

(3) 調査方法

市の広報紙を配布している底井野校区の全世帯に配布し、郵送にて回収を行った。

(4) 調査期間

平成 29 年 9 月 27 日（水）～平成 29 年 10 月 13 日（金）

(5) 回収状況

上記の方法により調査を実施した結果、1,371 票の配布に対し 392 票の回収があり、回収率は、約 29%となった。

なお、地区別の回収票数及び回収率を下表にて示す。

表 地区別回収票数

	垣生町	砂山	下大隈	上底井野	中底井野	無回答	全 体
配布票数	538	141	176	430	86	-	1,371
回収票数	147	42	55	118	26	4	392
回収率	27.3%	29.8%	31.3%	27.4%	30.2%	-	28.6%

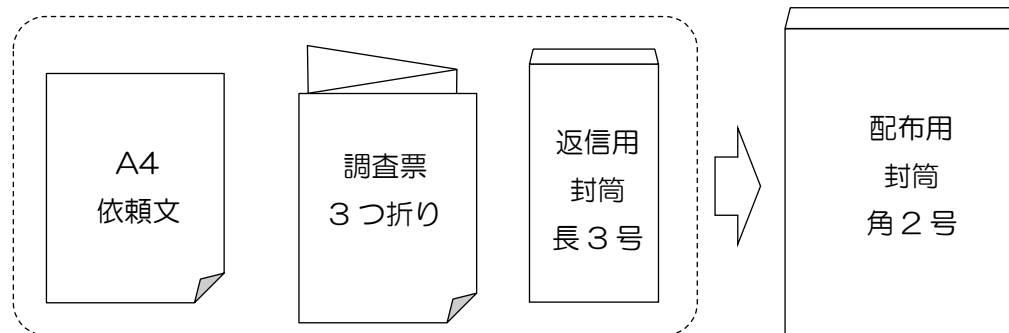
(6) その他

回収票 392 票から得られた同居家族を含む市民の回答数：936 サンプル

(7) 調査ツール

調査には、以下のツールを用いた。（詳細を次ページ以降に示す。）

- 依頼文 A4 片面 1 枚
- 配布用封筒 角 2 号
- 返信用封筒 長 3 号
- 調査票（630mm×297mm：3 つ折り）



底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の 利用実態に関するアンケート調査について (ご協力のお願い)

なかよし号は、平成 28 年 10 月より運行を開始し、9 月末で 1 年を迎えます。

今回、なかよし号が運行したことで、外出する時の移動手段が確保されたところではありますが、なかよし号が目標とする 1 便あたり 2 人の利用者数には、達していない状況にあります。今後、運行改善を図り、底井野校区の皆さまにさらにご利用いただけるよう、現在のご利用状況や運行内容について、ご意見をいただくことを目的としたアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところお手数をお掛けいたしますが、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、調査結果はすべて統計的な処理にのみ使用し、調査の目的以外に使用することはありませんので、ご安心ください。

平成 29 年 9 月

中間市地域公共交通会議会長 後藤 哲治

【記入にあたってのお願い】

- 世帯の中でどなたかおひとり（世帯全体のことを把握している方）が現時点（記入時）の状況をお答えください。
- 回答は調査票に直接、鉛筆またはボールペンでご記入ください。
また、回答は、番号に○を付けていただくものと、ご記入をいただくものがあります。
（ ）内には、具体的な内容をご記入ください。
- 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れていただき、下記アンケート回答締め切り日までに郵便ポストに投函してください。

アンケート回答締め切り：**平成 29 年 10 月 13 日(金)まで**

- ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いします。

【この調査の問い合わせ先】

中間市地域公共交通会議事務局（中間市役所 住宅都市交通対策課 交通対策係）
直通：093-246-6155

※調査委託会社:株式会社ケー・シー・エス九州支社

底井野校区コミュニティバス「なかよし号」 の利用実態に関するアンケート調査

底井野校区コミュニティバスの利用実態を調査し、運行内容の改善を行うための重要なアンケート調査です。ご回答をよろしくお願いします。

- ◆このアンケート調査は、中間市役所住宅都市交通対策課が実施しています。
- ◆ご記入いただいた個人情報およびアンケートの回答内容はすべて統計情報としてのみ使用し、他の目的に使用することはありません。

※調査票の提出方法

- ・同封の『返信用封筒』（細長い封筒）をご使用ください。
- ・記入済アンケート調査票を返信用封筒に入れ、「最寄りの郵便ポスト」に10月13日（金）までに切手を貼らずに投函してください。



回答締切日：平成29年10月13日（金）まで

- ◆調査の内容、アンケートの記入方法などについてわからない点がありましたら、下記にお問い合わせください。

中間市地域公共交通会議事務局（中間市役所住宅都市交通対策課交通対策係）
☎093-246-6155

福岡県 中間市役所

〒809-8501

福岡県中間市中間一丁目1番1号

代表 TEL 093(244)1111

FAX 093(245)5598

<http://www.city.nakama.lg.jp>

〔市民憲章〕人をだいじにし、心ゆたかなまちをつくれます。



差出課 住宅都市交通対策課

直通電話 093-246-6155

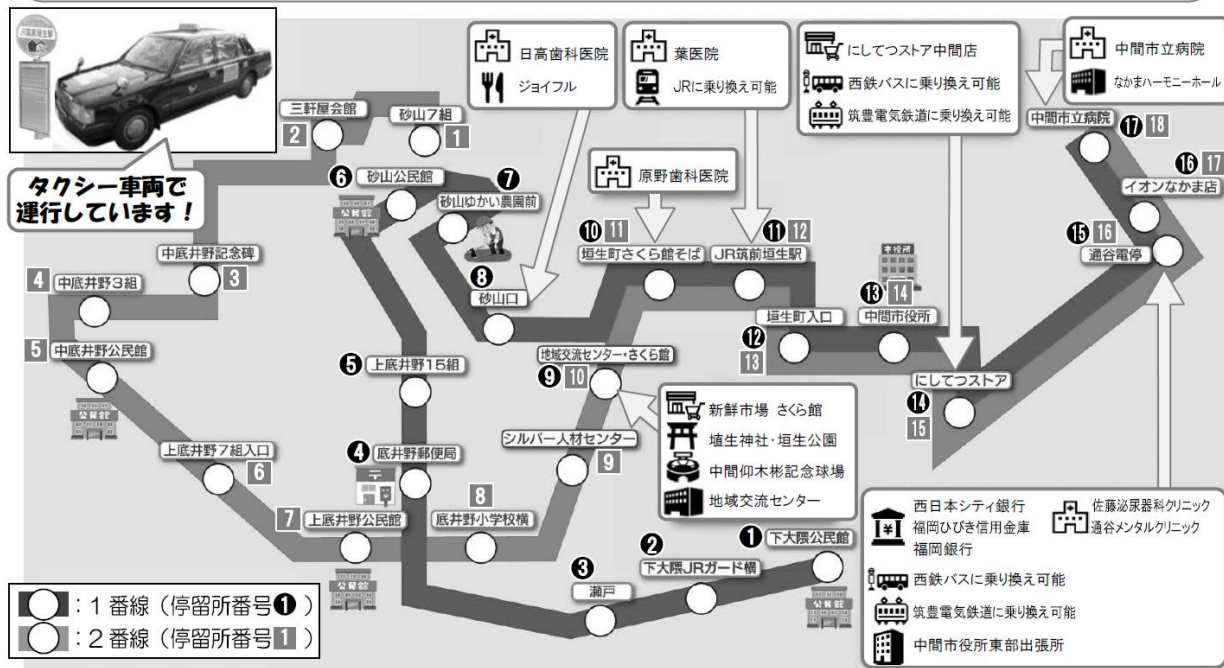
平成29年 9月27日

 料金受取人払郵便 博多北 承認 7299 差出有効期間 平成29年12月 31日まで 切手を貼らずに ご投函ください	8 1 2 - 8 7 9 0	101
返信用封筒	福岡県福岡市博多区博多駅前一丁目四番四号 JPR博多ビル七階 中間市役所 住宅都市交通対策課 底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の 利用実態に関するアンケート調査 【調査実施機関】 株式会社ケー・シー・エス 九州支社 行	
このアンケート調査は、中間市が調査実施機関に業務を委託して実施しております。 アンケート調査票以外のものは入れないでください。		
(問い合わせ先) 中間市役所 住宅都市交通対策課 交通対策係 電話：093-246-6155		

なかよし号に乗ってみませんか！？

平成 28 年 10 月より、なかよし号の運行を開始しました。底井野校区では、路線バスの運行がなく、公共交通の利用が困難な方が多くいらっしゃいましたが、なかよし号の運行により、どなたでも利用できる移動手段が確保されました。

また、平成 29 年 10 月からイオンなかま店敷地内(新鮮市場入口前)に停留所が新設されます。



○運行日：1 番線 垣生・下大隈系統【月曜日・水曜日】 2 番線 砂山・底井野系統【火曜日・金曜日】

○運賃：定額 200 円（中学生以上）、100 円（障がい者、小学生）、無料（小学生未満）

○予約方法：ご利用には、電話による乗車予約が必要です。

1 番線 垣生・下大隈系統：（有）ことぶきタクシー（TEL：244-2233）

2 番線 砂山・底井野系統：ひかり第一交通（株）（TEL：285-3555）

●お電話にて下記の内容をお伝えください。

①なかよし号、②利用日と時刻、③利用する路線番号と停留所番号、停留所名

④お名前、⑤利用人数、⑥連絡先、⑦行き先の停留所番号、停留所名

●受付期間：運行日の 2 日前から各便の運行開始時刻の 1 時間前まで ●受付時間：6：00～17：00

○「なかよし号」の利用者は、まだまだ少ない状況で、1 便に 1 人しか乗っていないことも多く、それでは、普通のタクシー利用に市が補助をしているのと変わらないことになってしまいます。

○地域の皆さんの利用が少なければ、今後「なかよし号」の運行を続けていくことも難しくなります。

○地域のため、みなさんやみなさんの家族の将来のために少しずつでも利用して、どうすればより快適で使いやすい「なかよし号」になるか、一緒に考え、みんなで育てていきましょう！

<H28 年 10 月～H29 年 7 月>

○のべ利用者数

⇒944 人

○1 便あたり利用者数

⇒1.45 人

【なかよし号の目標】

・1 便あたり利用者数⇒2 人

底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の
利用実態に関するアンケート調査票

I. お住まいの方の状況についてお聞きします。

問1 お住まいの地域をお教えてください。(該当する自治会の番号に○をご記入ください。)(1つ選択)

1. 垣生町 2. 砂山 3. 下大隈 4. 上底井野 5. 中底井野

問2 最寄りの公共交通機関(筑前垣生駅・なかよし号停留所)までの所要時間は、徒歩何分程度ですか。
(該当する番号に○をご記入ください。)(1つ選択)

1. すぐ近く(1分以内) 2. 2～5分 3. 6～10分 4. 11～15分
5. 16～20分 6. 21～30分 7. 31分以上

問3 ご自宅に、自家用車は何台ありますか。(該当する番号に○をご記入ください。)(1つ選択)

1. 1台 2. 2台 3. 3台以上 4. 0台

問4 記入者及び同居の家族の外出の状況

(該当する項目にご記入、及び該当する番号に○をご記入ください。)

※1週間で最も多い外出先のことについてお答えください。

※同居の家族が4名以上いる場合は、主に外出される方を4名選んでお答えください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
4-1 年齢	歳	歳	歳	歳	歳
4-2 性別(1つ選択)	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性
4-3 運転免許(1つ選択)	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし
4-4 主な外出目的 (1つ選択)	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他
4-5 外出頻度 (1つ選択)	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない
4-6 交通手段 (よく利用する ものから順に 3つ選択)	最も多く利用 2番目に多く利用 3番目に多く利用	最も多く利用 2番目に多く利用 3番目に多く利用	最も多く利用 2番目に多く利用 3番目に多く利用	最も多く利用 2番目に多く利用 3番目に多く利用	最も多く利用 2番目に多く利用 3番目に多く利用
	1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付	4. 自家用車(自分で運転)	
	5. 自家用車(家族等の送迎)	6. なかよし号	7. 筑豊電鉄	8. JR	
	9. タクシー	10. 会社や施設などの送迎車	11. その他		

問5 【4-4 主な外出目的】で選んだ外出先について、市内、市外の該当する番号に○をつけ、外出先の住所（場所）をご記入ください。（1つ選択）

※市内を選んだ方は、下段に住所と施設名を記入ください。（例）住所：中間一丁目 場所：中間市役所

※市外を選んだ方は、下段に市町村名を記入ください。（例）北九州市八幡西区

		記入者	同居家族 1	同居家族 2	同居家族 3	同居家族 4
外出先の場所	1つ選択	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外
	市内	住所 () 具体的な場所を記入 ()	住所 () 具体的な場所を記入 ()	住所 () 具体的な場所を記入 ()	住所 () 具体的な場所を記入 ()	住所 () 具体的な場所を記入 ()
		市町村名 ()	市町村名 ()	市町村名 ()	市町村名 ()	市町村名 ()

Ⅱ. なかよし号についてお聞きします。

問6 なかよし号の利用状況について、該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
6-1 なかよし号が運行していること をご存じですか (1つ選択)	1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない
6-2 なかよし号の利用状況 (1つ選択)	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない

『1. 利用したことがある』と回答された方は 以下の問7へお進みください。

『2. 利用したことがない』と回答された方は 5ページの問10へお進みください。

【なかよし号をご利用されたことがある方にお聞きします。】

問7 なかよし号の利用目的や利用頻度、運行サービスの満足度について、該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
7-1 利用目的 (複数回答可)	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他
7-2 利用頻度 (1つ選択)	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下

⇒4 ページに続きます。

【なかよし号をご利用されたことがある方にお聞きます。】

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
7-3 運行時間帯 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-4 運行便数・運行 頻度 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-5 運行ルート (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-6 運賃 (1つ選択)	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い
7-7 他の交通手段と の乗り継ぎ (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-8 停留所の距離 や間隔 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-9 車内の乗り心地 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-10 予約方法 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-11 なかよし号の利 用によるお出か け回数の変化 (1つ選択)	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った

【ご家族のうち、よく『なかよし号』をご利用されている方お一人が代表してお答えください。】

問8 なかよし号の運行に対して要望したい改善点はなんですか。以下の選択肢から選んで番号に○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 運行便数を増やしてほしい | 8. 予約方法を簡単にしてほしい |
| 2. 運行日を増やしてほしい | 9. 特にない |
| 3. 停留所を増やしてほしい | 10. その他 |
| 4. 運行ルートを変更してほしい | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">具体的に記入ください</div> |
| 5. 鉄道や路線バスと乗り継ぎしやすくしてほしい | |
| 6. 時刻表通りに運行してほしい | |
| 7. 運賃を下げしてほしい | |

問9 なかよし号の予約方法について、改善してほしいと思うところがありますか。以下の選択肢から選んで番号に○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 予約受付の開始日を早くしてほしい | |
| 2. 予約の締切時間を遅くしてほしい | |
| 3. 予約の受付時間を延ばしてほしい | |
| 4. インターネットなどから予約・変更できるようにしてほしい | |
| 5. その他 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">具体的に記入ください</div> |

【ご家族のうち、どなたかお一人が代表してお答えください。】

問10 なかよし号の不便な点や利用しない理由を以下の選択肢から選んで番号に○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| 1. 行くとときに利用したい時間帯と合わない | 11. 予約方法がわからない |
| 2. 帰るときに利用したい時間帯と合わない | 12. 急な外出時に利用できない |
| 3. 利用したい曜日に運行していない | 13. タクシー車両での相乗りに抵抗がある |
| 4. 行きたい目的地に行くのに利用できない | 14. 他の交通手段があり利用する必要がある |
| 5. 目的地に行くまでに時間がかかる | 15. 特にない |
| 6. 運賃が高い | 16. その他 |
| 7. 運行していることを知らない
（運行ルートや運行時刻がわからない） | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">具体的に記入ください</div> |
| 8. 自宅から停留所まで遠い | |
| 9. 電車や路線バスとの乗り継ぎが悪い | |
| 10. 予約が面倒 | |

問 11 なかよし号の市の財政負担額について、現在の状況を利用者 1 人あたりに換算すると、市が利用者 1 人 1 回の利用に対し、約 700 円を負担しています。このことについてどう思いますか。該当する番号に○をつけてください。(1 つ選択)

1. 負担が多い

2. ちょうど良い

3. 負担が少ない

問 12 なかよし号の運行を今後も維持していくためには、市の財政負担を軽減させる必要があります。今後もなかよし号の運行を維持していくためには、どのような方法が望ましいとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(1 つ選択)

1. 地域住民が積極的に利用して、維持していくべき

2. 運賃の値上げ等、利用者の負担で維持していくべき

3. サービスの質(運行日数、運行便数等)を下げ、維持していくべき

4. 市が他のサービスを削っても維持していくべき

5. わからない

6. その他()

問 13 なかよし号の今後の利用について、あなたはどのように思われますか。該当する番号に○をつけてください。(1 つ選択)

1. 現在も利用している

2. これからは積極的に利用したいと思う

3. 今後、可能な範囲で利用したいと思う

4. 今後も利用しないと思う

5. わからない

6. その他()

問 14 なかよし号について、体験して感じたことや改善点など具体的にご記入ください。
(運行日数、便数、時刻、運賃、予約方法など) また、その他ご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

2. 調査結果

(1) 回答者の属性

- 回答者の居住地は、垣生町が37.5%、上底井野が30.1%の順に多い。
- 所要時間は、2～5分が46.9%で最も多く、次いで6～10分の21.4%である。すぐ近くが12.2%であるのに対し、11分以上要するのは16.9%になっている。
- 自家用車の台数は、1台が33.7%、2台が34.7%、3台以上が16.8%であった。2台以上の自家用車を所有する世帯は約52%と半数を占める。

①居住地（自治会）

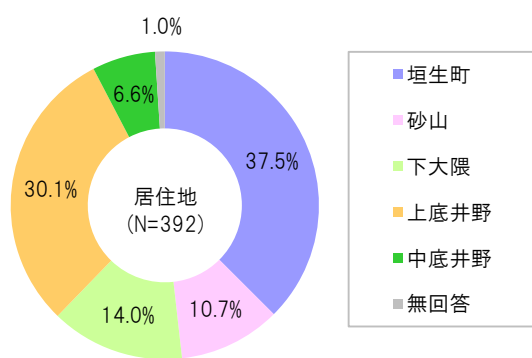


図 居住地

②最寄りの公共交通機関

（筑前垣生駅・なかよし号停留所）までの所要時間

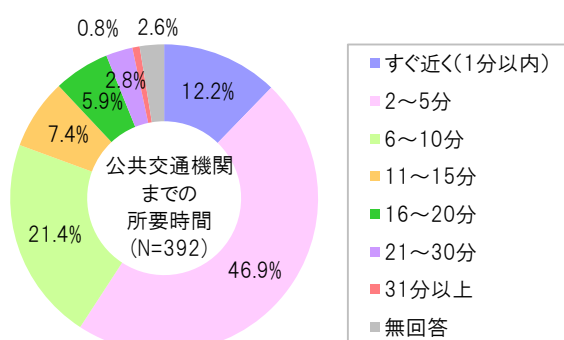


図 最寄りの公共交通機関までの所要時間

③自家用車保有台数

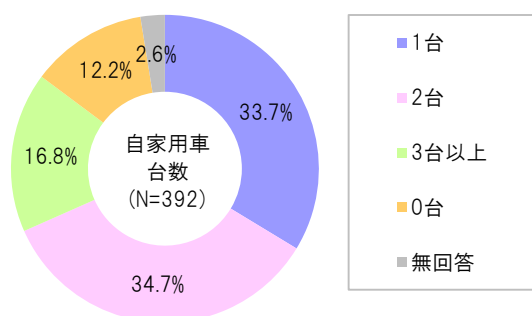


図 自家用車保有台数

(2) 記入者及び同居家族の属性

- 最も多い年齢は 65～74 歳の 26.8%で、次いで 50～64 歳の 23.1%となる。また、65 歳以上の高齢者が 46%と半数近くを占めている。
- 男女の割合は男性 46.3%、女性 53.2%であった。
- 全体の 70.8%が運転免許証を保有している。
- 年齢別にみると 20 歳以上の多くが運転免許証を保有している一方で、75 歳以上になると 57.2%が保有していない状況にある。

①年齢

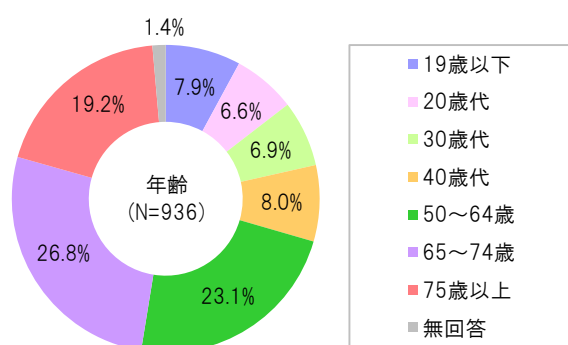


図 年齢

②性別

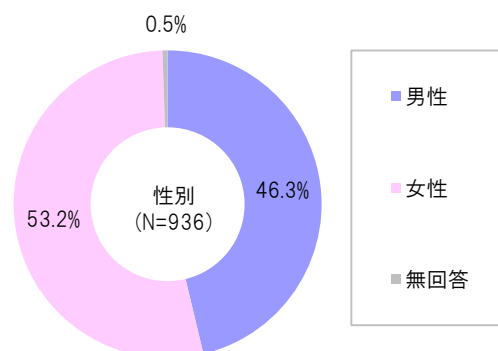


図 性別

③運転免許の保有

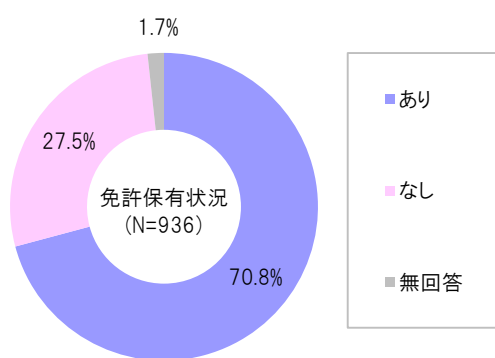


図 運転免許の保有

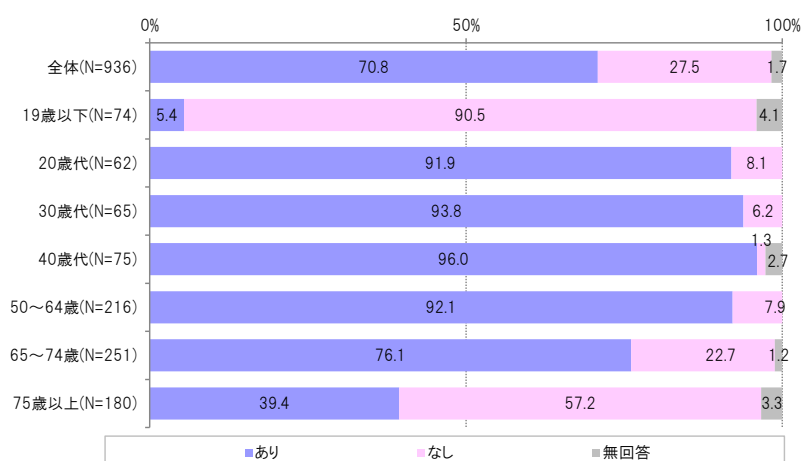


図 年齢別の運転免許保有状況

(3) 記入者及び同居家族の外出の状況

●主な外出の目的は、通勤が38.9%と最も多く、買い物が33.2%であった。

①外出目的

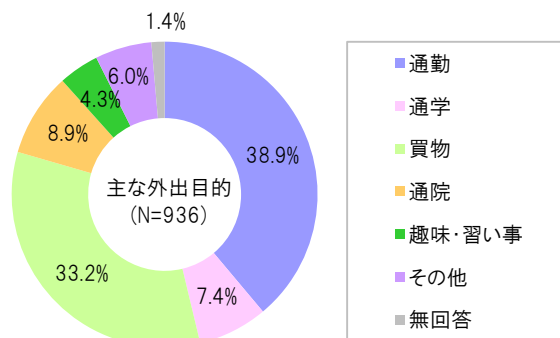


図 外出目的

②外出頻度

- 外出頻度については、週5回以上が6割近くあり、週3～4回が2割程度となっている。
- 目的別の外出頻度について、週1～2回から週5回以上の合計でみると、買い物が94.1%、通院が65.1%の割合で毎週1回以上出かけている状況にある。
- 年齢別の外出頻度では、64歳までは7割を超える割合で週5回以上の外出であるが、65歳以上になると週3～4回と週1～2回の割合が多くなり、75歳以上では週1～2回が3割となっている。

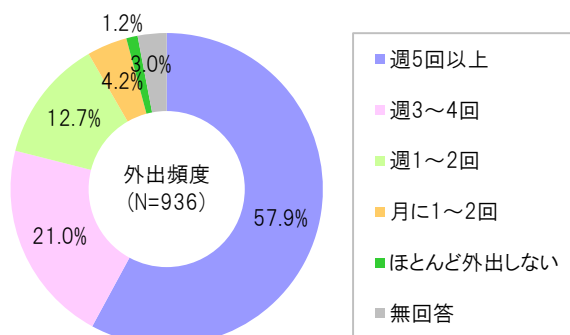


図 外出頻度

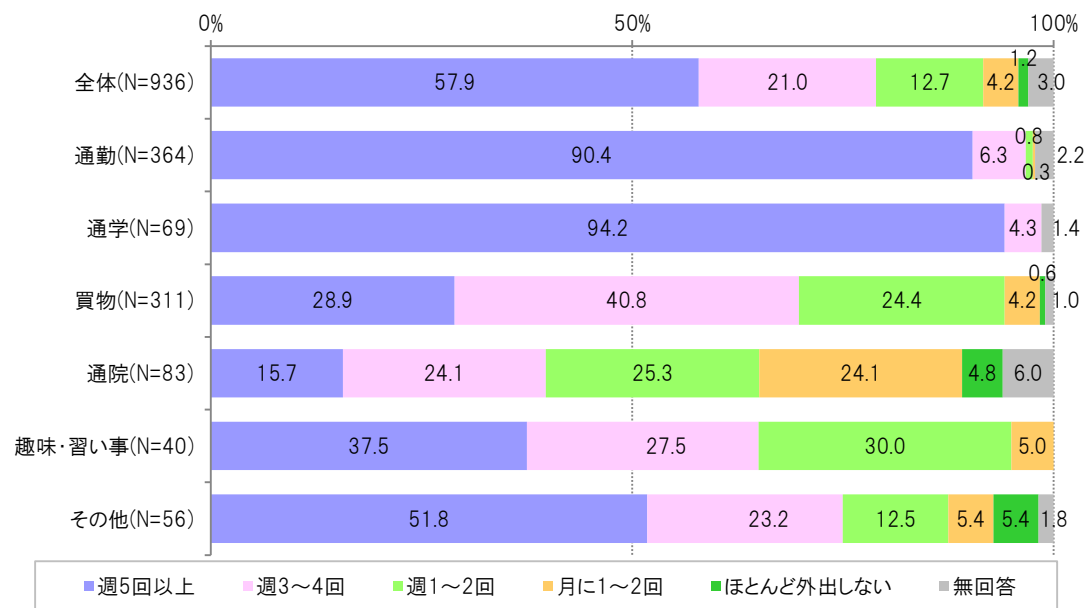


図 外出頻度(目的別)

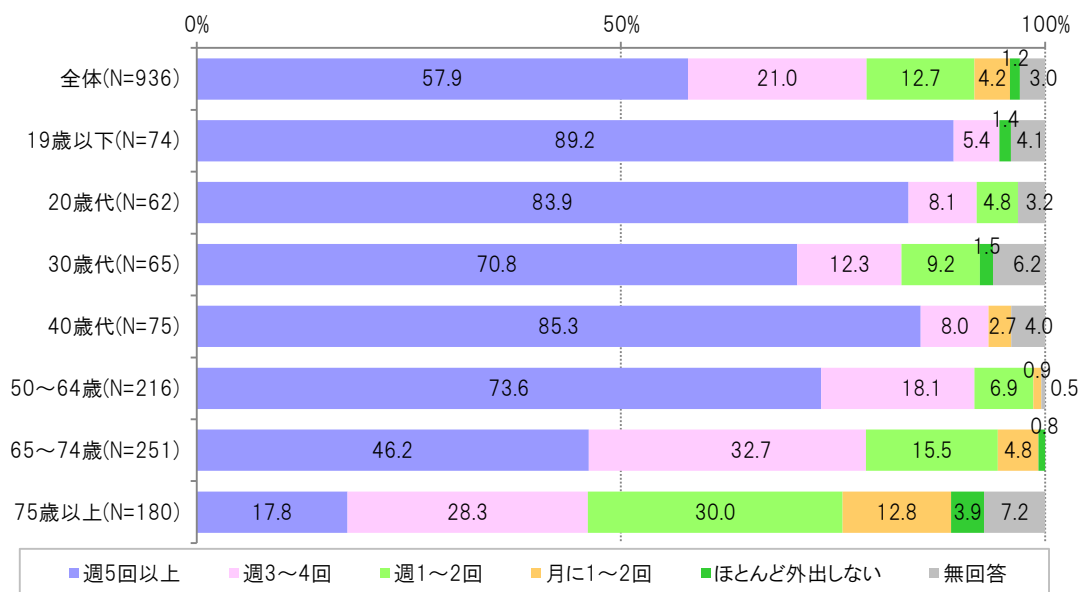


図 外出頻度(年齢別)

③交通手段

- よく利用する交通手段の上位3位は、自家用車（自分で運転）が6割と最も多く、自家用車（家族等の送迎）が4割程度、徒歩およびJRが3割程度となっている。
- 年齢別の最も多く利用する交通手段の割合は、20歳から64歳までの多くは自家用車となっている。65歳以上になると自家用車の割合が減少し、75歳以上になると家族や会社・施設の送迎や、なかよし号・タクシーの割合が大きくなる。

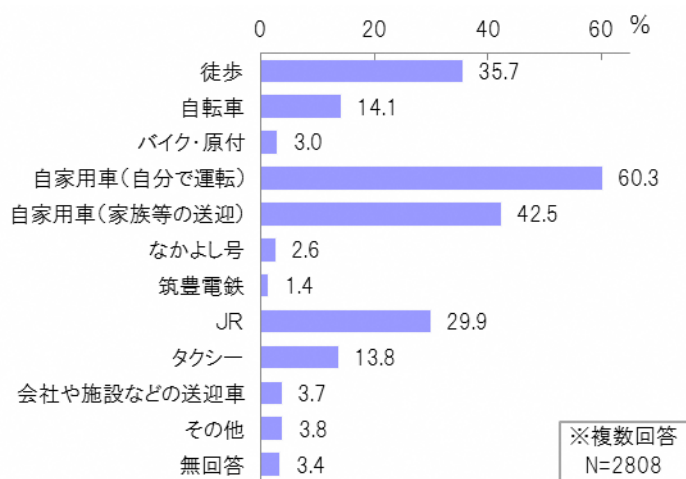


図 交通手段(上位3位までの合計)

表 最も多く利用する交通手段

最も多く利用する交通手段	票数	割合 (%)
自家用車(自分で運転)	524	56.0
自家用車(家族等の送迎)	139	14.9
徒歩	60	6.4
JR	58	6.2
自転車	49	5.2
会社や施設などの送迎車	22	2.4
タクシー	19	2.0
バイク・原付	15	1.6
なかよし号	10	1.1
その他	5	0.5
筑豊電鉄	2	0.2
無回答	33	3.5

N=936

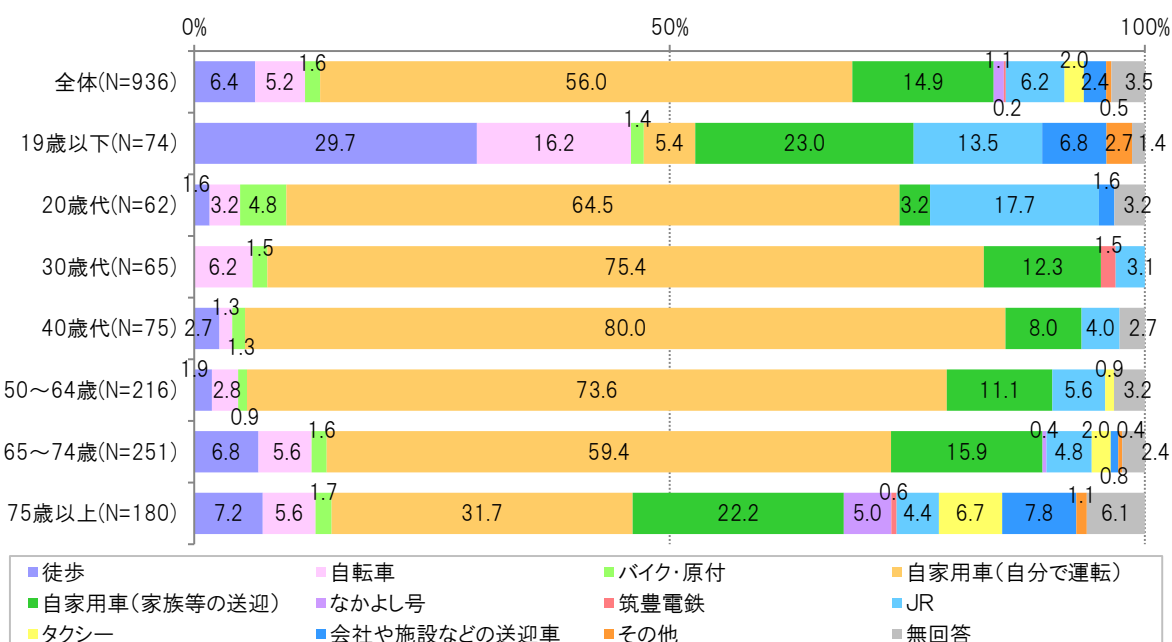


図 最も多く利用する交通手段(年齢別)

④外出先

- 主な外出先は市内が43.5%、市外が48.4%と、市外への外出の割合が若干多くなっている。
- 年齢別にみると、若い世代ほど市外へ出かけ、65歳以上になると市内への外出の割合が増えてくる。75歳以上になると市外へ外出する割合は21.1%と少なくなる。
- 市内の外出先の施設は、主にイオンなかま店が圧倒的に多く、ほかには中間市立病院を初め病院や商業施設、市役所といった外出が見受けられる。
- 市外への外出先をみると、八幡西区が圧倒的に多く、八幡東区や小倉北区などを含めた北九州市内への外出が過半数を占めている。
- そのほかでは鞍手町、直方市、遠賀町など中間市近隣の自治体への外出が目立っている。

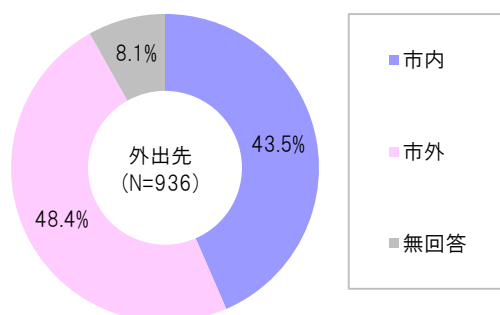


図 外出先

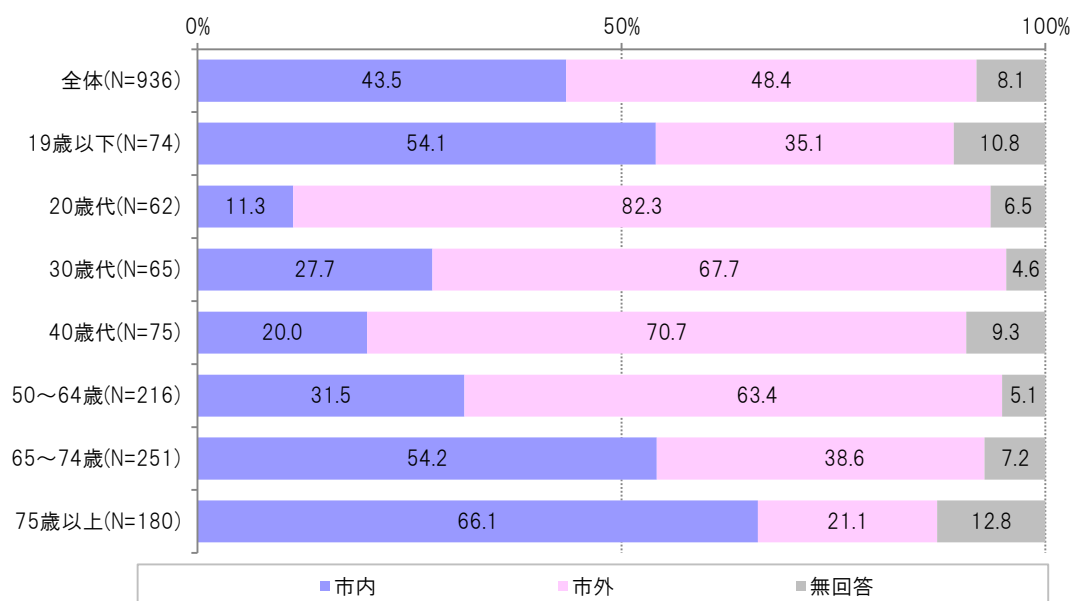


図 外出先の市内と市外の割合(年齢別)

表 市内の外出先(上位 10)

施設名	票数
イオンなかま店	53
中間市立病院	14
ハローデイ中間店	12
新鮮市場さくら館	12
コスモス中鶴店	11
フードウェイ中間店	11
にしてつストア中間店	10
砂山デイサービスセンター	8
中間市役所	8
新中間病院	5

(N=407)

表 市外の外出先(市町村)

市外外出先(市町村名)	票数
八幡西区	119
北九州市(区不明)	54
鞍手町	43
直方市	39
遠賀町	32
福岡市	25
水巻町	20
八幡東区	17
小倉北区	13
若松区	12
岡垣町	11
宮若市	9
宗像市	9
遠賀郡(詳細不明)	7
戸畑区	6

(N=453)

(4) なかよし号の利用状況

① なかよし号の認知状況

- なかよし号の認知状況は、73.4%が知っていると回答している。
- 年齢別では、20代以下は認知していない割合が多いが、30代以上では認知している割合が約7割程度であり、50代以上では約8～9割程度が認知している。
- 居住地別では下大隈地区の認知度が最も高い。
- 平成28年度中間市地域公共交通網形成計画推進事業におけるアンケート結果では、「フレンドリー号を知っている」と回答した者が67.9%であったのに対し、なかよし号は73.4%であった。

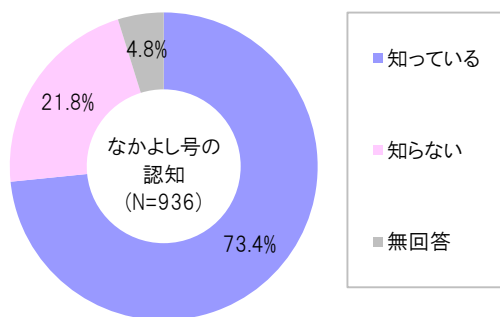


図 なかよし号の認知状況

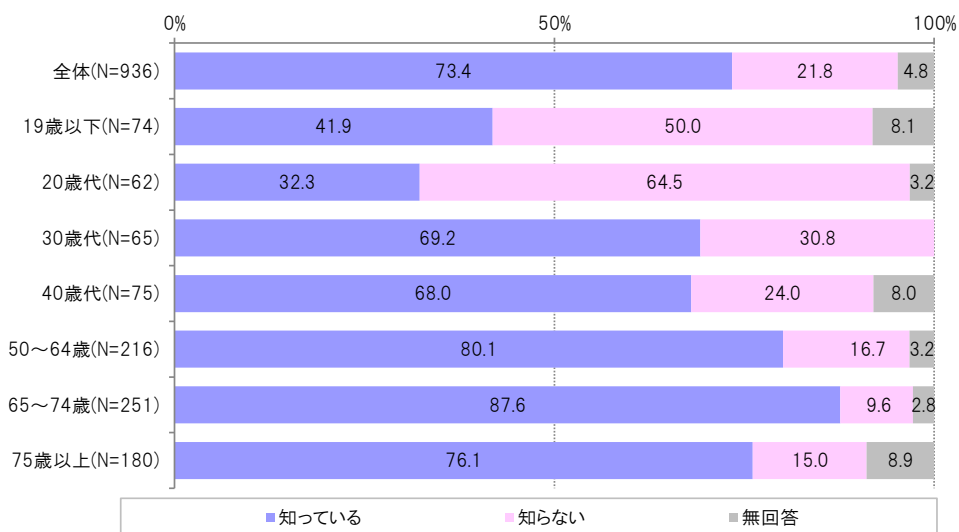


図 なかよし号の認知状況(年齢別)

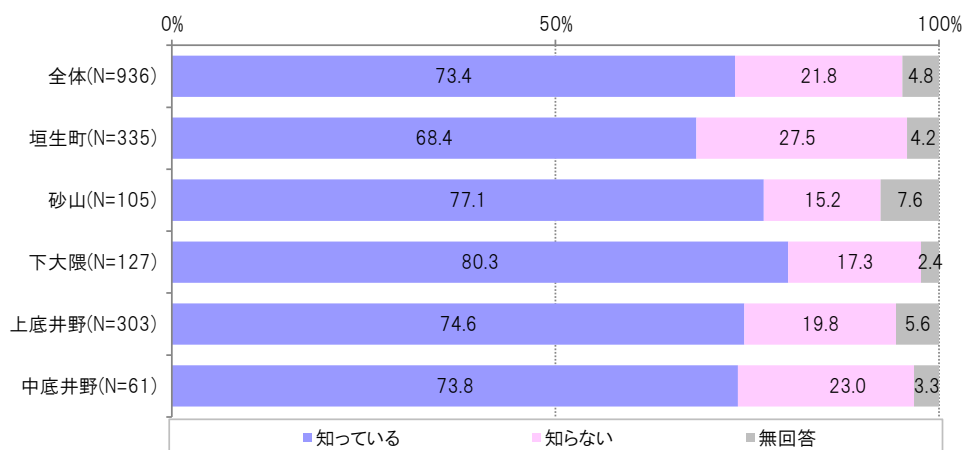


図 なかよし号の認知状況(居住地別)

②なかよし号の利用状況

- 利用状況については、利用したことがあるのは4.9%で、約9割が利用したことがないと回答している。
- 年齢別にみると、利用したことがあるのは50歳以上に限られ、65歳～74歳で6.0%、75歳以上で12.8%と割合が高くなっている。
- 居住地別にみると、上底井野及び中底井野の利用率が全体の4.9%より低い。
- 平成28年度中間市地域公共交通網形成計画推進事業におけるアンケート結果では、「フレンドリー号を利用したことがある」と回答した者が2.9%であったのに対し、なかよし号は4.9%であった。

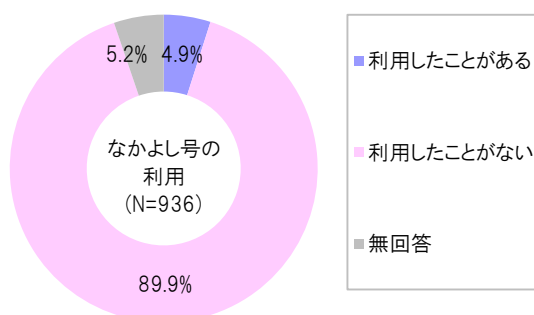


図 なかよし号の利用状況

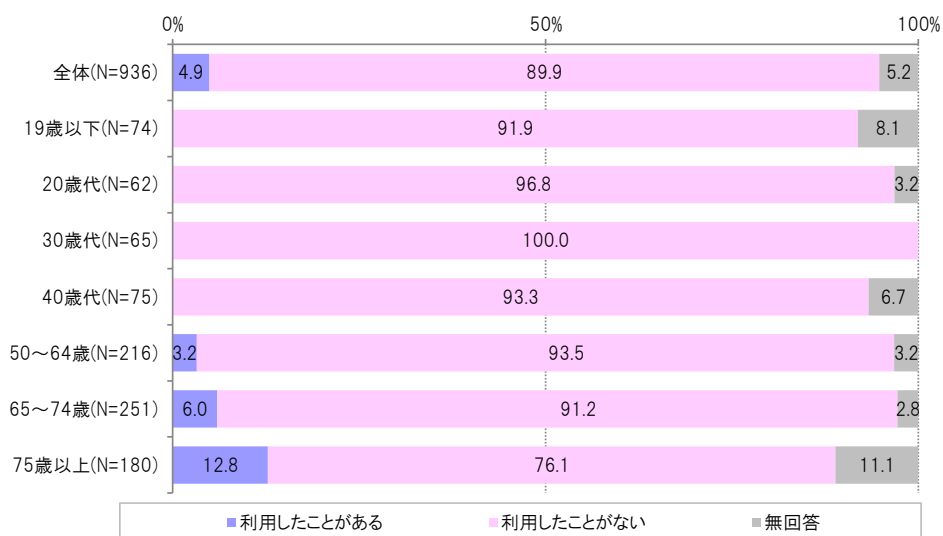


図 なかよし号の利用状況(年齢別)

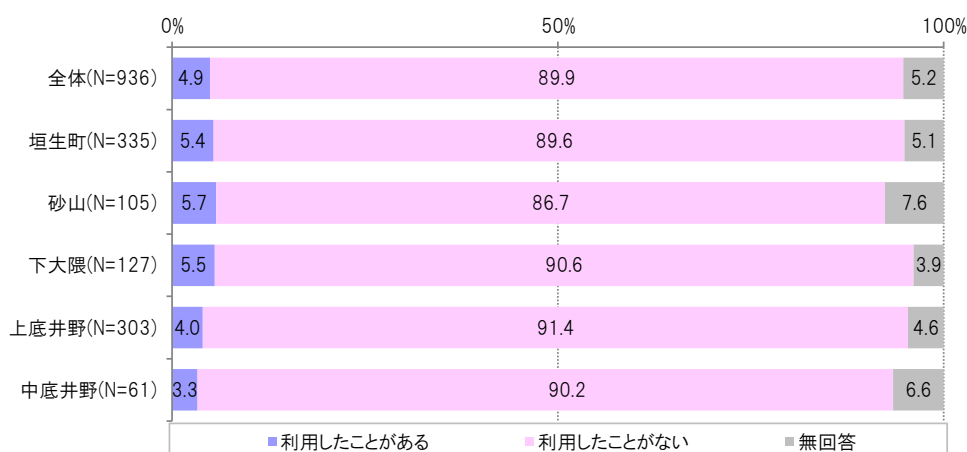


図 なかよし号の利用状況(居住地別)

③なかよし号の利用目的

- 利用目的としては、買い物が最も多く、過半数を占め、通院が4割程度となっている。
- 居住地別にみると、砂山及び下大隈で買い物目的での利用が多い。
- 平成28年度中間市地域公共交通網形成計画推進事業におけるアンケート結果では、フレンドリー号の最も多い利用目的は「通院」で、回答した者が61.5%であったのに対し、なかよし号の通院目的の利用は37.0%であった。

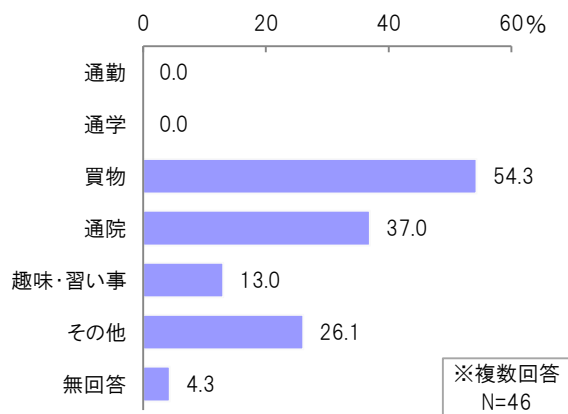


図 なかよし号の利用目的

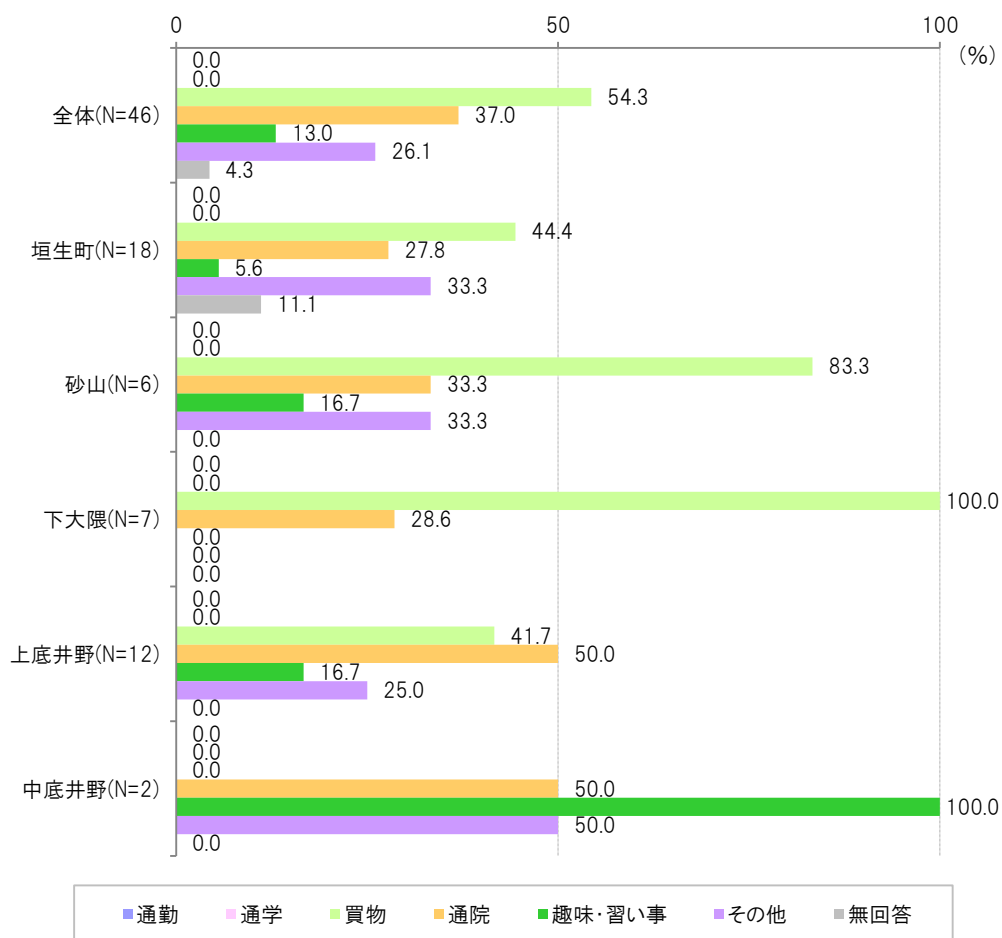


図 なかよし号の利用目的(居住地別)

④なかよし号の利用頻度

- 利用頻度は、「月に数回以下」が約65%と最も多く、「週に1日程度」、「週に2日程度」が1割程度となっている。
- 居住地別にみると、砂山において週2回程度の利用が約3割と利用頻度が高い。

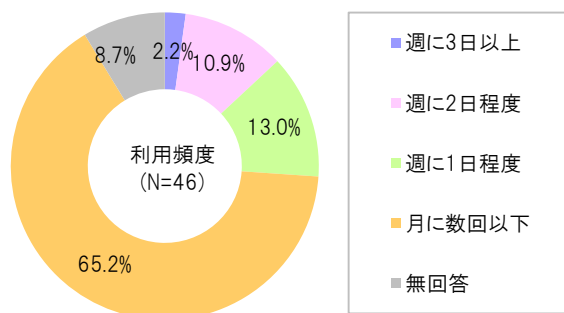


図 なかよし号の利用頻度

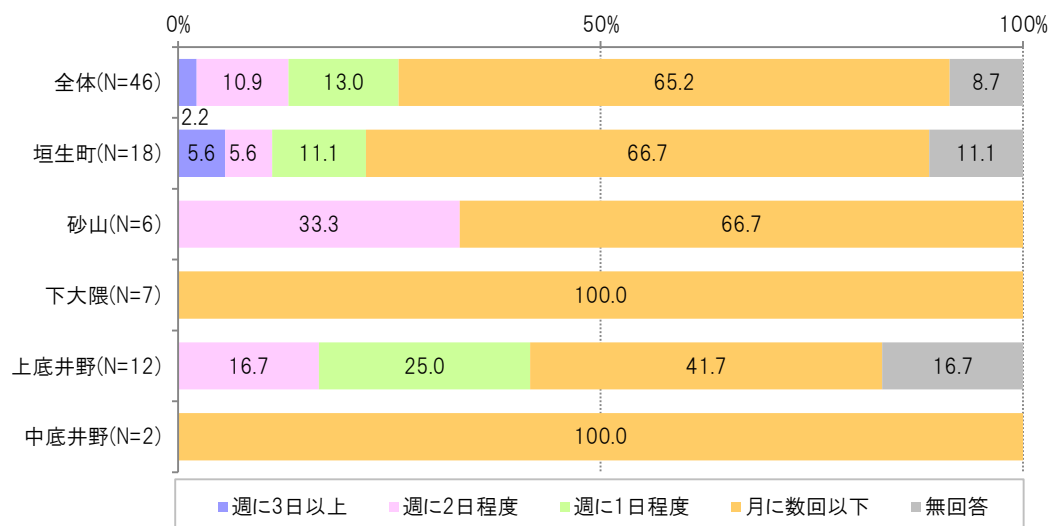


図 なかよし号の利用頻度(居住地別)

⑤なかよし号の満足度

- 「運行時間帯」、「運行便数・運行頻度」、「予約方法」については、利用者の4割程度が不満と回答しており、満足の割合よりも不満の方が高い結果となっている。
- 「車内の乗り心地」については過半数が満足しており、「運行ルート」、「停留所の距離や間隔」については4割近くが満足という結果となっている。
- 「運賃」については、8割以上が安い・ちょうどよいと回答している。
- 「他の交通手段との乗り継ぎ」については、不満は1割程度であるが、満足している利用者が2割程度にとどまる結果となっている。
- 予約方法の満足度を居住地別にみると、垣生町での「不満」が約6割と高い。

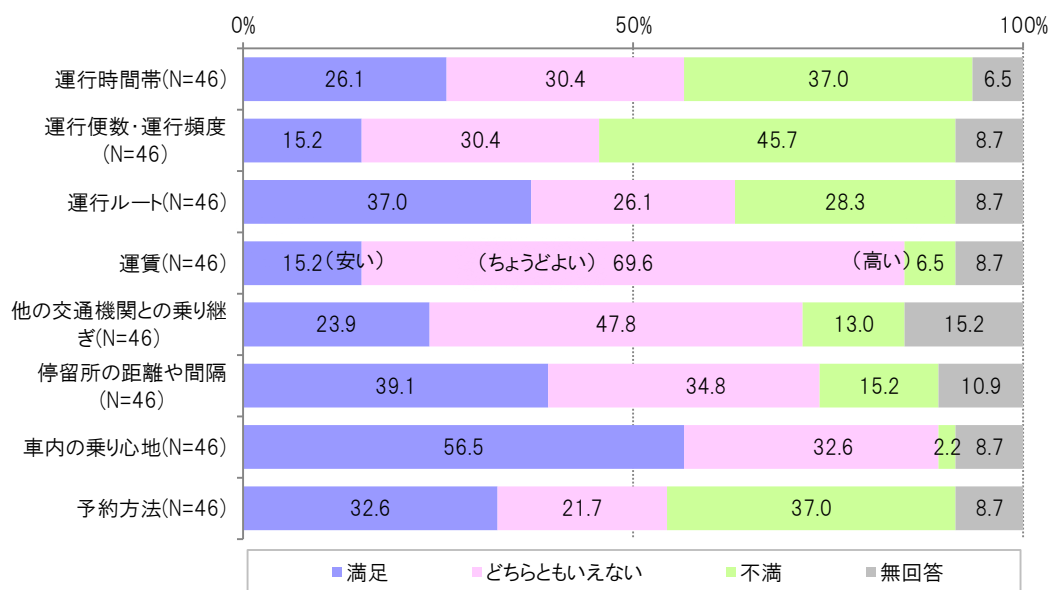


図 なかよし号の満足度

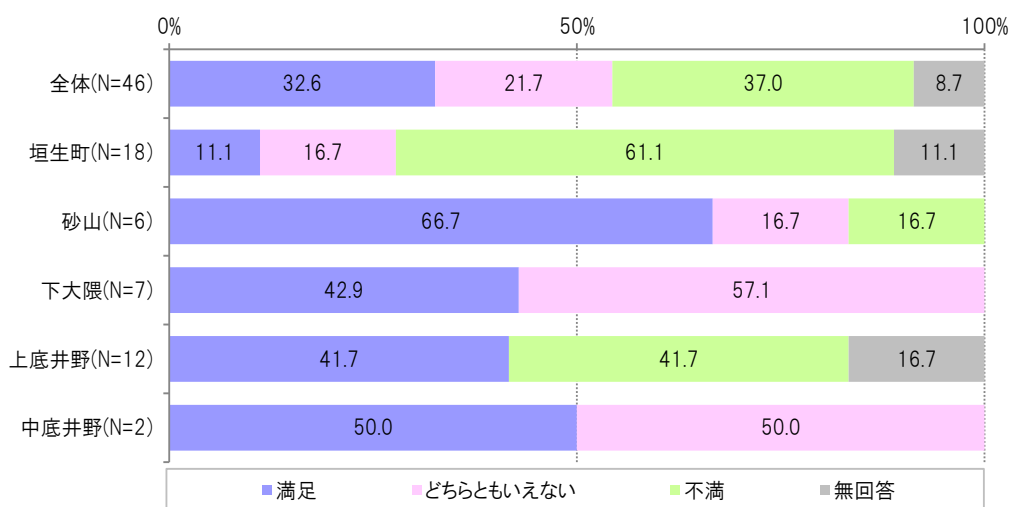


図 予約方法の満足度(居住地別)

⑥なかよし号の利用によるお出かけ回数の変化

- 利用者の過半数が、お出かけ回数は変わらないと回答しており、お出かけ回数が増えたと回答した割合は2割程度となっている。
- 居住地別にみると、砂山で「回数が増えた」との回答した者が多い。

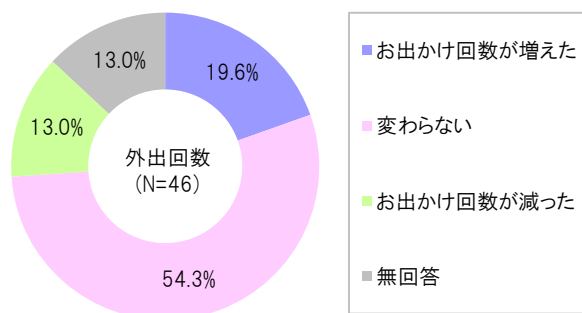


図 なかよし号の利用によるお出かけ回数の変化

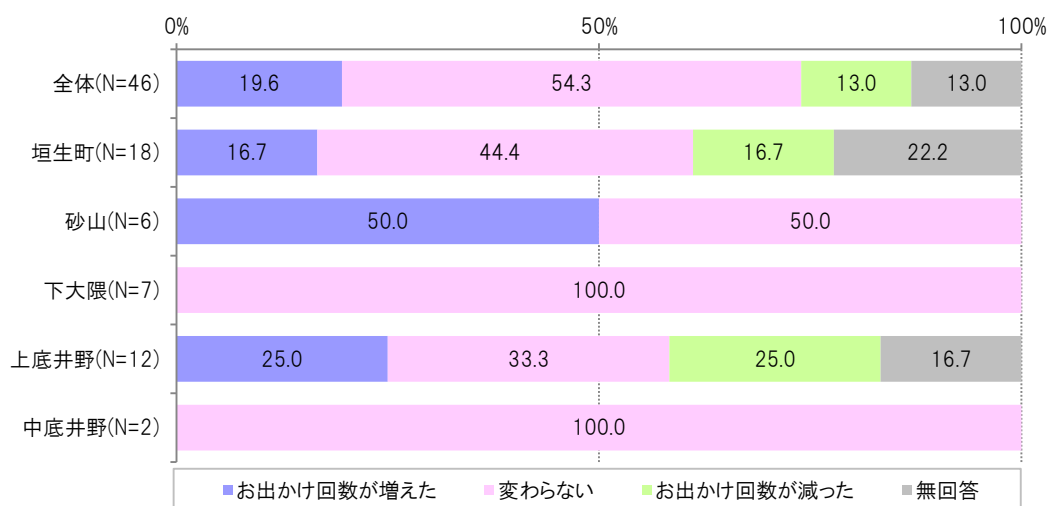


図 なかよし号の利用によるお出かけ回数の変化(居住地別)

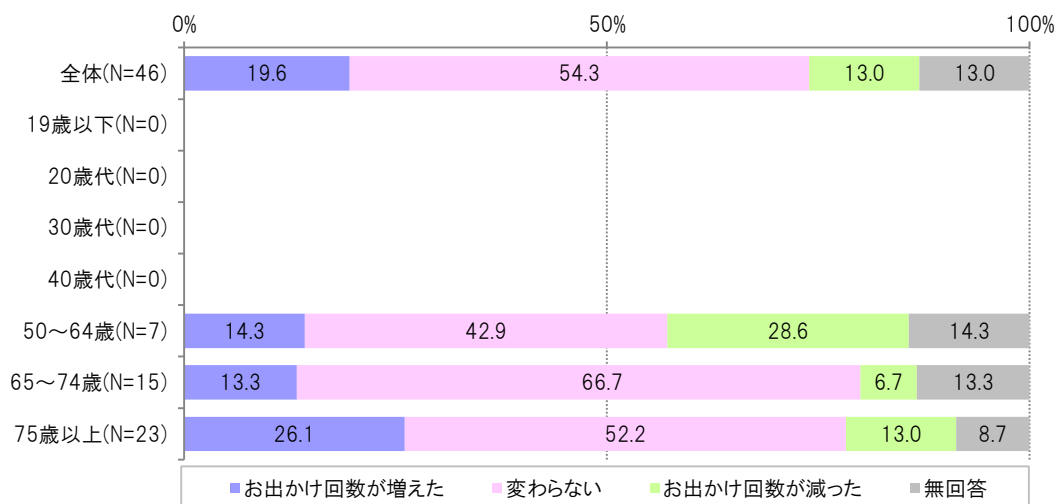


図 なかよし号の利用によるお出かけ回数の変化(年齢別)

⑦なかよし号の運行に対する要望

●なかよし号利用者からの要望としては、「運行日を増やしてほしい」という意見が5割程度あり、「運行便数を増やしてほしい」、「予約方法を簡単にしてほしい」が4割程度となった。

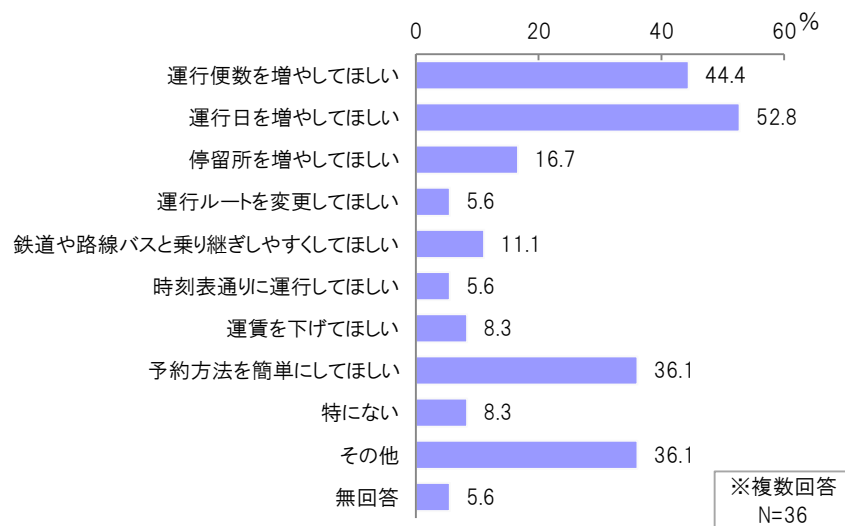


図 なかよし号の運行に対する要望

⑧なかよし号の予約方法に対する要望

- なかよし号利用者からの予約方法の要望としては、「予約の締切時間を遅くしてほしい」という意見が4割近くあり、「予約受付の開始日を早くしてほしい」、「予約の受付時間を延ばしてほしい」が1割程度となった。
- 居住地別にみると、垣生町で「予約の締切時間を遅くして欲しい」と回答した者が多い。

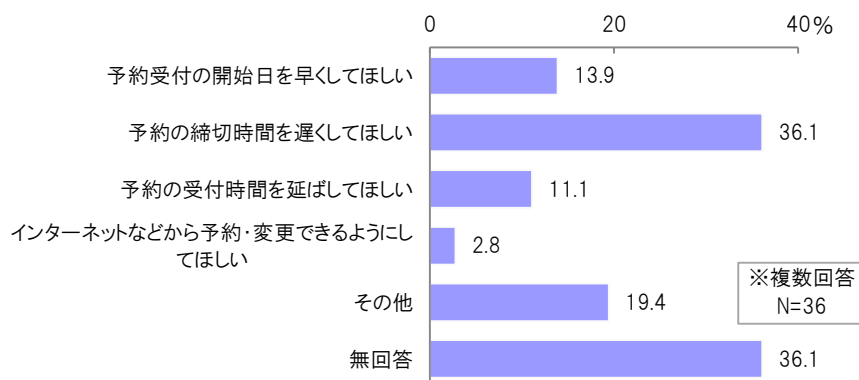


図 なかよし号の予約方法に対する要望

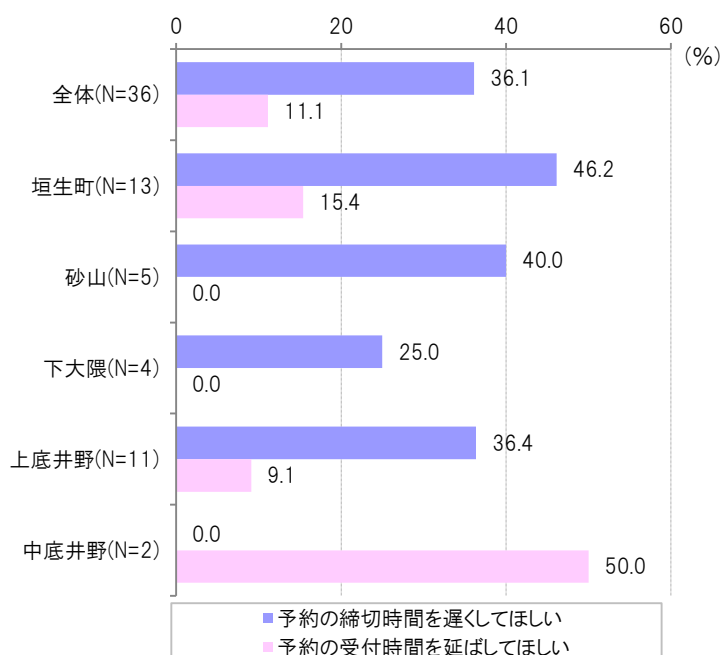


図 予約の締切時間と受付時間に対する要望(居住地別)

<参考> 予約時期に関する運行事業者へのヒアリング結果

●(有)ことぶきタクシー(垣生・下大隈系統)

9割程度が前日までの予約であり、当日予約は少ない。初めて予約された方には、「可能な限り前日までの予約を」と呼びかけている。

●ひかり第一交通(株)(砂山・底井野系統)

前日までの予約はほとんどなく、9割程度は当日予約である。

⑨なかよし号の不便な点、利用しない理由

- なかよし号の不便な点、利用しない理由として、4 割近くが「他の交通手段があり利用する必要がない」と回答している。
- 「予約が面倒」と回答した者を居住地別にみると、中底井野は低いのが、それ以外では約 3 割と同程度である。



図 なかよし号の不便な点、利用しない理由

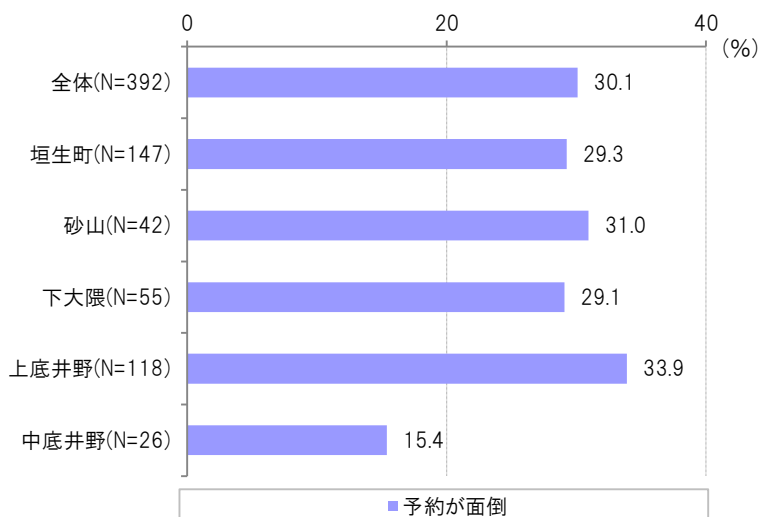


図 「予約が面倒」と回答した方の割合(居住地別)

⑩なかよし号の財政負担額に対する評価

- なかよし号に対する市の財政負担額について、負担が多いという意見が4割程度、ちょうど良いという意見が3割弱という結果となった。

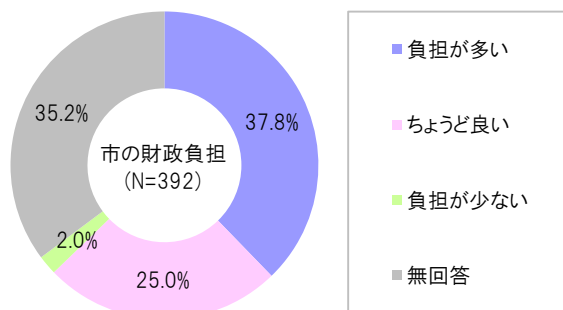


図 なかよし号の財政負担額に対する評価

⑪なかよし号の運行維持方策

- 「地域住民が積極的に利用して維持していくべき」という回答が約24%と最も多い結果となっている。

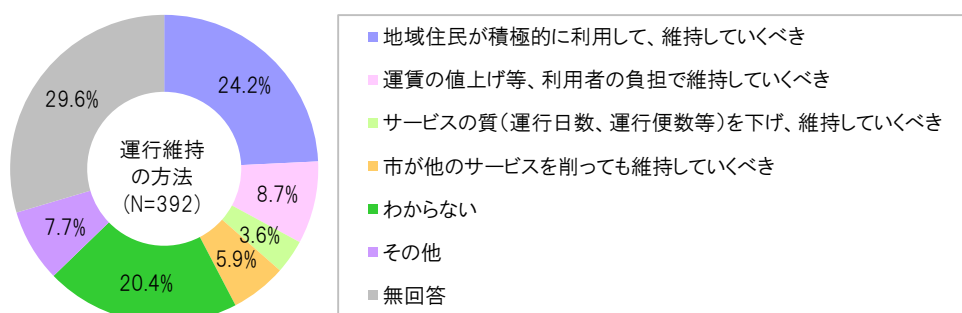


図 なかよし号の運行維持方策

⑫なかよし号の今後の利用意向

- 今後、現在利用している、これからは積極的に利用したいと思う、可能な範囲で利用したいという意見が約28%、今後も利用しないと思うという意見が約21%と、「利用したい」という意見の方がやや多い。
- 居住地別にみると、下大隈での利用意向が約4割と高い。

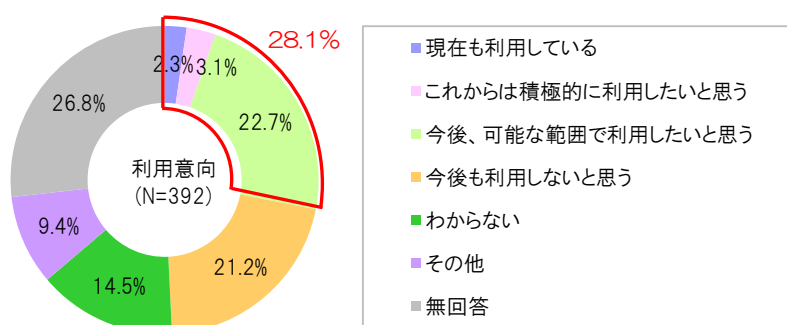


図 なかよし号の今後の利用意向

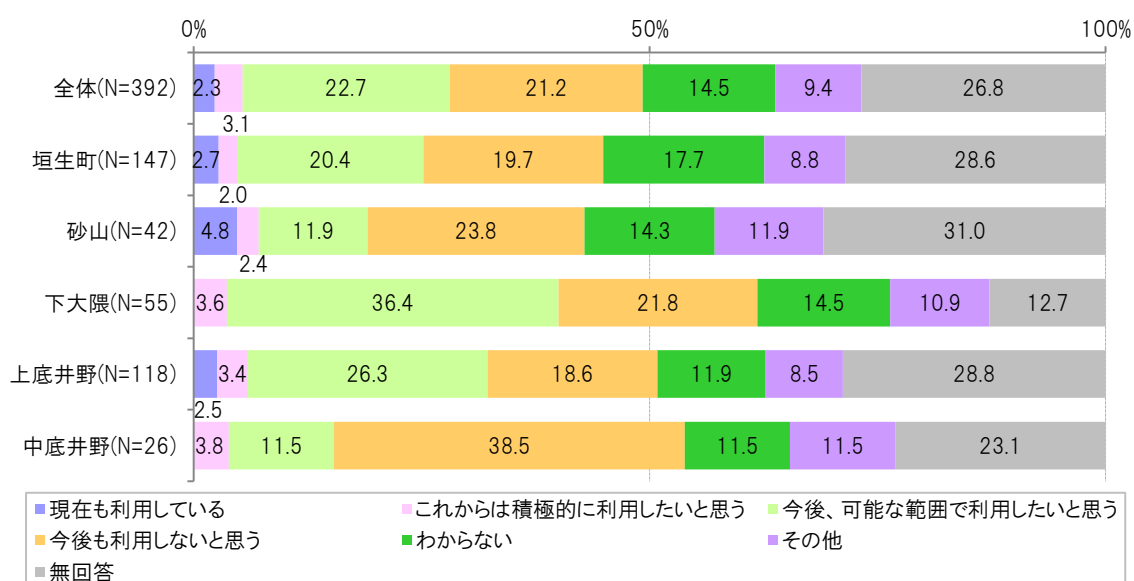


図 なかよし号の今後の利用意向(居住地別)

2. モニタリング

2-1 運行状況

底井野校区コミュニティバス（なかよし号）の運行開始から1年のモニタリングは、先のアンケート調査結果に加えて、利用者数データの分析によって評価する。

1. 分析概要

（1）分析実施期間

平成28年10月から平成29年9月（1年間）

垣生・下大隈系統：月・水の週2日運行（運行時間1時間前までの予約制）

砂山・底井野系統：火・金の週2日運行（運行時間1時間前までの予約制）

（2）分析する項目

- 概況（利用者数、属性（大人・障がい者、子供等・幼児）別人数と割合）
- 利用者数（合計、平均、最多）
- 運行率
- 1日あたりのバス停別平均乗降客数
- 利用者1人あたりの市の財政負担額

2. 垣生・下大隈系統の分析結果

（1）概況

平成28年10月から平成29年9月の利用者総数：539人

大人：322人（59.7%）

障害者・子供等：217人（40.3%）

幼児：0人

（2）便別の利用者数

- 便別の利用者総数は、3便が最も多く158人、次いで1便が122人と、午前中の往路便の利用者多かった。復路便においては、6便が117人と最も多かった。

表 便別の利用者総数

1便	8:15発	122人
2便	9:15発	34人
3便	10:15発	158人
4便	11:15発	18人
5便	13:15発	59人
6便	14:15発	117人
7便	15:15発	11人
8便	16:15発	20人
計		539人

●平均利用者も 3 便が最も多く、2.1 人となった。全体の平均は 1.5 人であった。

表 便別の平均利用者数

1便	8:15発		1.3人
2便	9:15発		1.0人
3便	10:15発		2.1人
4便	11:15発		1.1人
5便	13:15発		1.5人
6便	14:15発		1.3人
7便	15:15発		1.4人
8便	16:15発		1.3人
平均			1.5人

●便別の最多利用者数は、3便・5便・6便の4名（満席）であった。
（なお、なかよし号は予約制運行のため、最少利用者数は必ず 1 人以上となる。）

表 便別の最多利用者数

便番号	出発時刻	最少利用者数 (人)	最多利用者数 (人)
1便	8:15発	1	3
2便	9:15発	1	2
3便	10:15発	1	4
4便	11:15発	1	2
5便	13:15発	1	4
6便	14:15発	1	4
7便	15:15発	1	2
8便	16:15発	1	2

(3) 運行率

●期間中の計画運行数はそれぞれ 102 日（合計 816 便）であったが、実際に運行したのは 374 便（うち 7 便は追走便）であり、運行率（追走便除く）は全体で 45.0%であった。
●最も多く運行されたのは 1 便の 90.2%で、逆に最も運行されなかったのは 7 便の 6.9%であった。

表 運行率

便番号	出発時刻	運行しなかった便数 (便)	運行した便数(便)	運行率 (%)
1便	8:15発	10	92	90.2%
2便	9:15発	70	32	31.4%
3便	10:15発	25	77	75.5%
4便	11:15発	86	16	15.7%
5便	13:15発	62	40	39.2%
6便	14:15発	15	87	85.3%
7便	15:15発	95	7	6.9%
8便	16:15発	86	16	15.7%
平均				45.0%

(4) 平均乗降客数

- 乗車はＪＲ筑前垣生駅が最も多く、次いで、にしてつストア、通谷電停、砂山口、砂山公民館、中間市立病院となった。
- 降車は通谷電停が最も多く、次いで中間市立病院、ＪＲ筑前垣生駅、砂山口となった。
- 瀬戸、底井野郵便局、上底井野 15 組乗降客数が極めて少ない。

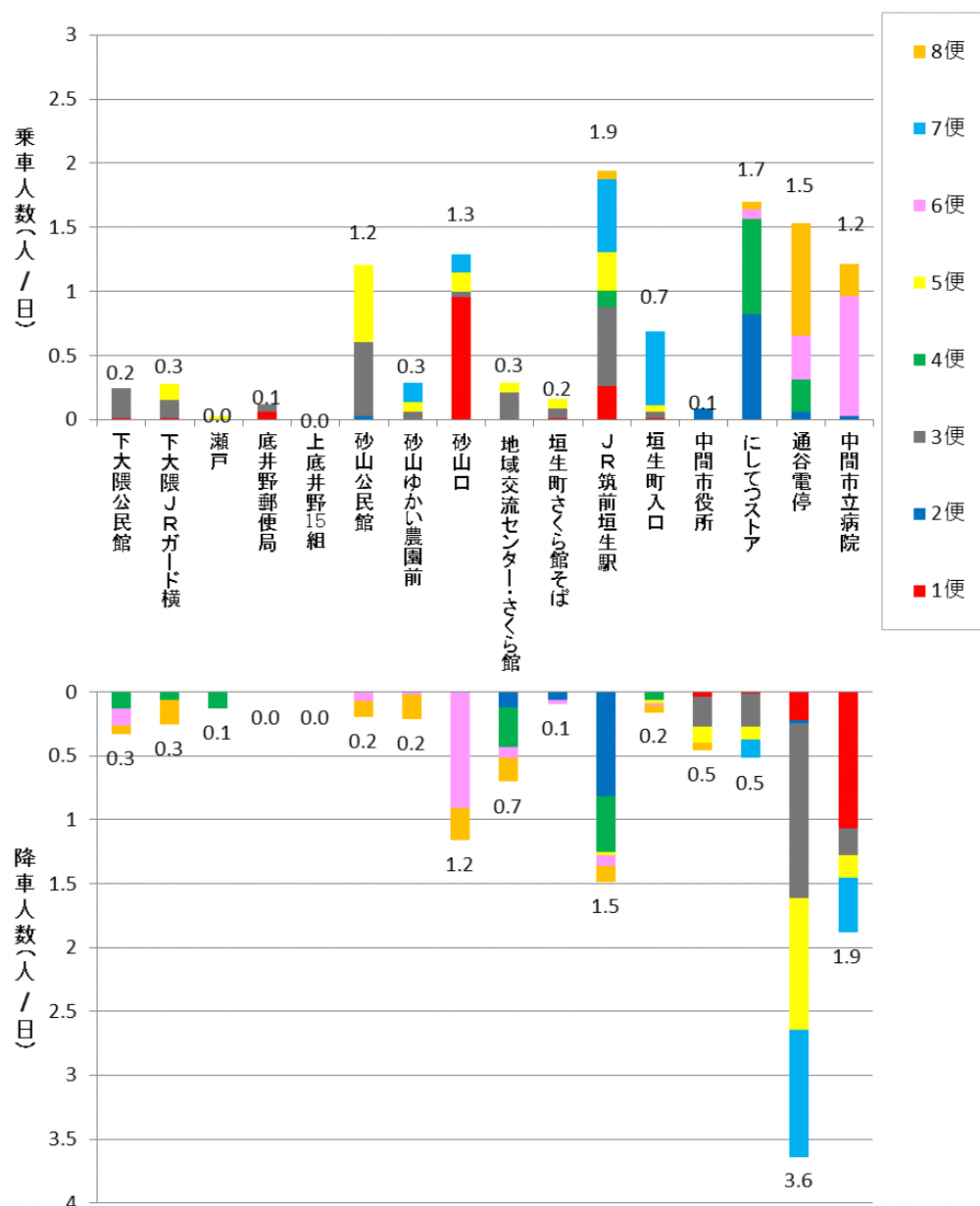


図 1 日あたりの停留所別平均乗降客数

(5) 財政負担額

表 運行経費と利用者数

運行便数 (便)	利用者総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補填額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数(人/便)	利用者1人あたりの 市の財政負担額(人/円)
374	539	470,390	86,100	384,290	1.44	713

3. 砂山・底井野系統の分析結果

(1) 概況

平成28年10月から平成29年9月の利用者総数：640人

大人：478人（74.7%）

障害者・子供等：162人（25.3%）

幼児：0人

(2) 便別の利用者数

●便別の利用者総数は、5便が最も多く132人、次いで1便が113人と、往路便の利用者多かった。復路便においては、6便が106人と最も多かった。

表 便別の利用者総数

1便	8:15発	113人
2便	9:15発	34人
3便	10:15発	101人
4便	11:15発	54人
5便	13:15発	132人
6便	14:15発	106人
7便	15:15発	83人
8便	16:15発	17人
計		640人

●平均利用者は7便が最も多く1.7人となった。全体の平均は1.4人であった。

表 便別の平均利用者数

1便	8:15発	1.5人
2便	9:15発	1.0人
3便	10:15発	1.6人
4便	11:15発	1.4人
5便	13:15発	1.5人
6便	14:15発	1.5人
7便	15:15発	1.7人
8便	16:15発	1.2人
平均		1.4人

- 便別の最多利用者数は、1便・3便・5便・6便の4名（満席）であった。
（なお、なかよし号は予約制運行のため、最少利用者数は必ず1人以上となる。）

表 便別の最多利用者数

便番号	出発時刻	最少利用者数 (人)	最多利用者数 (人)
1便	8:15発	1	4
2便	9:15発	1	1
3便	10:15発	1	4
4便	11:15発	1	3
5便	13:15発	1	4
6便	14:15発	1	4
7便	15:15発	1	3
8便	16:15発	1	3

(3) 運行率

- 期間中の計画運行数はそれぞれ101日（合計808便）であったが、実際に運行したのは433便（うち1便は追走便）であり、運行率（追走便除く）は全体で53.5%であった。
- 最も多く運行されたのは5便の86.1%で、逆に最も運行されなかったのは8便の13.9%であった。

表 平均運行率

便番号	出発時刻	運行しなかった便数 (便)	運行した便数(便)	運行率 (%)
1便	8:15発	26	75	74.3%
2便	9:15発	66	35	34.7%
3便	10:15発	39	62	61.4%
4便	11:15発	62	39	38.6%
5便	13:15発	14	87	86.1%
6便	14:15発	31	70	69.3%
7便	15:15発	51	50	49.5%
8便	16:15発	87	14	13.9%
平均				53.5%

(4) 平均乗降客数

- 乗車は、にしてつストアが最も多く、次いで、通谷電停、地域交流センター・さくら館、JR筑前垣生駅となった。
- 降車も、にしてつストアが最も多く、次いで通谷電停となった。
- 砂山7組、三軒屋会館、中底井野記念碑、上底井野7組入口については、乗降客数が極めて少ない。

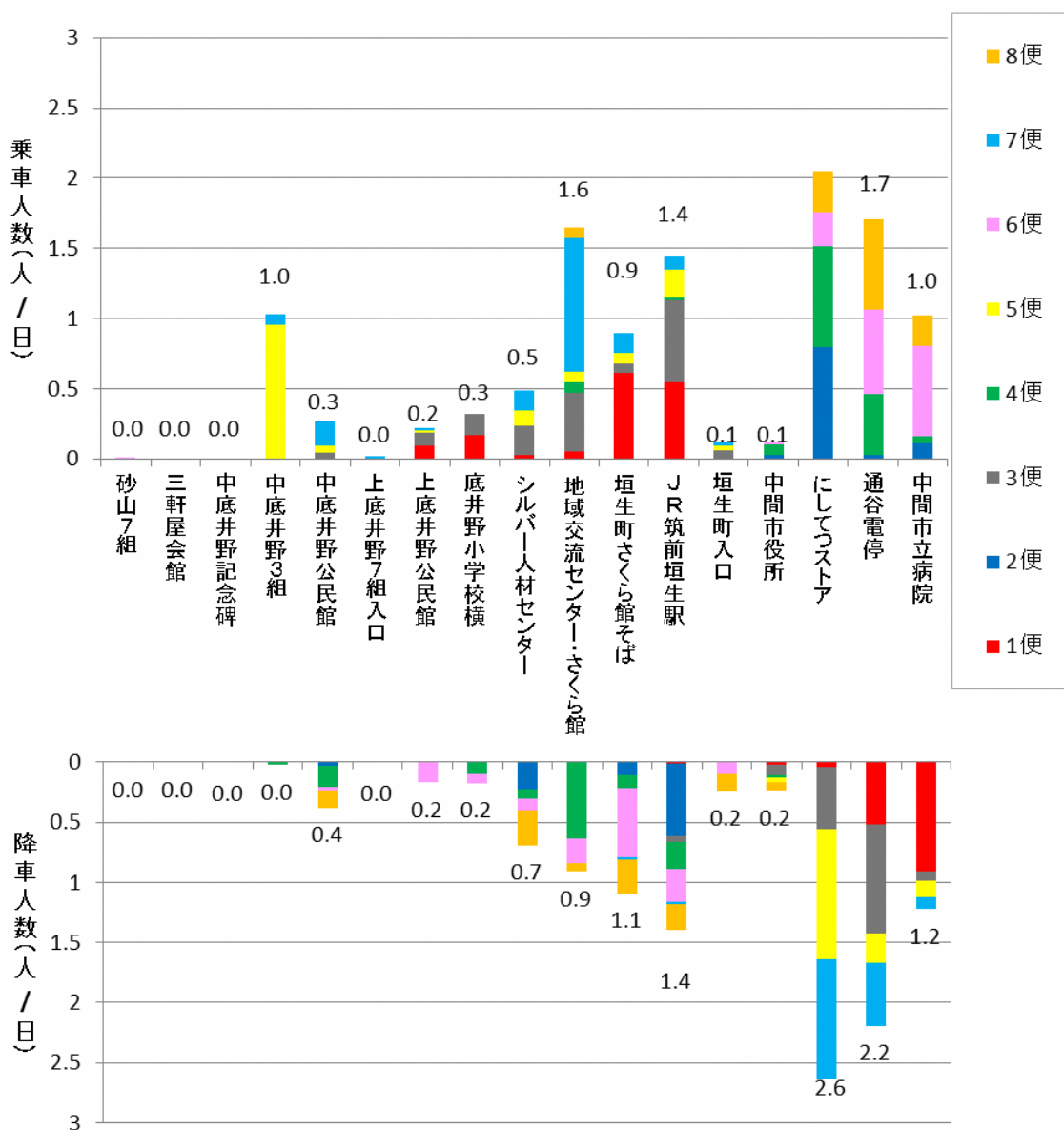


図 1日あたりの停留所別平均乗降客数

(5) 財政負担額

表 運行経費と利用者数

運行便数 (便)	利用者総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補填額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数(人/便)	利用者1人あたりの 市の財政負担額(人/円)
433	640	577,510	111,800	465,710	1.48	728

4. 底井野校区コミュニティバスの運行に関する効果検証

＜コミュニティバスの1便あたりの利用者数＞

○運行1年間を通しての1便あたりの平均利用者数は、1.46人/便となり、中間市地域公共交通網形成計画時点における、目標値の2.0人/便には達していない結果となっている。
 なお、南校区コミュニティバスの1便あたり平均利用者数は1.06人/便であり、これと比較すると利用促進策の効果が見られるものと考えられる。

＜コミュニティバス利用者1人への市の負担金額＞

○運行1年間を通しての利用者1人への市の負担金額は、721円/人となり、中間市地域公共交通網形成計画時点における目標値の569円/人には、達していない結果となっている。
 なお、南校区コミュニティバスの利用者1人への市の負担金額は1,246円/人であり、これと比較すると効果的な運行がなされているものと考えられる。

表 底井野校区コミュニティバスの運行経費と利用者数

	運行便数 (便)	利用者総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補填額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数(人/便)	利用者1人あたりの 市の財政負担額(人/円)
垣生・下大隈系統	374	539	470,390	86,100	384,290	1.44	713
砂山・底井野系統	433	640	577,510	111,800	465,710	1.48	728
全体	807	1,179	1,047,900	197,900	850,000	1.46	721

* データはH28.10～H29.9の期間を集計したもの

表 【参考】南校区コミュニティバスの運行経費と利用者数

	運行便数 (便)	利用者総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補填額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数(人/便)	利用者1人あたりの 市の財政負担額(人/円)
太賀・朝霧系統	816	889	1,199,930	172,100	1,027,830	1.09	1,156
通谷・桜台系統	808	836	1,277,499	156,300	1,121,199	1.03	1,341
全体	1,624	1,725	2,477,429	328,400	2,149,029	1.06	1,246

* データはH28.10～H29.9の期間を集計したもの

5. 底井野校区のモニタリング

(1) 目的

中間市の遠賀川西部においては、平成25年3月末に西鉄バス中山中間線が廃止され、平成26年7月にはJR筑豊本線の筑前垣生駅の無人駅化が行われるなど、住民にとって公共交通の利便性が低下し続けている地域である。

この底井野校区において、平成28年10月に運行を開始した底井野校区の「なかよし号」を以下の指標で評価することで、日常の買い物や通院を目的とした新しい移動手段としての役割及び効果について検証を行う。

①目標年次 平成32年度

②評価指標（現況値） 平成27年度

③事業評価結果

モニタリング指標	単位	現況値	評価値 (H29)	目標値 (H32)	評価概要
底井野校区住民 (65歳以上)のお 出かけ回数の増加	回/週	2.6 (H27)	3.6	2.8	目標値を達成しており、目標年次まで引き続き維持していくことが望まれる。

＜評価値の算出根拠＞

底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関するアンケート調査問4ー5「外出頻度」の回答から、65歳以上のみ抽出し、下記のとおり平均値を算出しました。

表 外出頻度の計算

	サンプル数	週5回以上	週3～4回	週1～2回	月1～2回	ほとんど 外出しない
65～74歳	251	116	82	39	12	2
75歳以上	167	32	51	54	23	7
65歳以上合計(A)	418	148	133	93	35	9
想定外出頻度(B)		6	3.5	1.5	0.375	0
外出頻度(小計)(C)		888	465.5	139.5	13.125	0
外出頻度(全体合計)(D)		1506.125				
外出頻度		3.6				

(A) × (B)
(C) の合計
(D) ÷ (A)

* 回答者のうち、本設問に未回答であった者は控除しています。

表 回答と想定外出頻度の設定

回答	想定外出頻度 (回/週)	理由
週5回以上	6	週5回と週7回の間値
週3～4回	3.5	週3回と週4回の間値
週1～2回	1.5	週1回と週2回の間値
月1～2回	0.375	週0.25回(月1回)と週0.5回(月2回)の間値
ほとんど外出しない	0	

④課題

- 下図に示すグラフは、アンケートにおいて「便数や頻度に不満がある」と回答した人の「利用目的」をクロス集計したものである。
- モニタリング結果から、運行時間帯による利用者数の変動が大きく、垣生・下大隈系統及び砂山・底井野系統とも、8時台、10時台の利用が顕著であり、9時台は極端に利用が少ない。その他の時間帯においても、利用の多寡に不均衡が見られる。
なお、一般的な営業開始時間を考えると、8時台は通院目的、10時台は買い物目的が多いものと考えられる。
- これらの結果を勘案すると、買い物目的の利用者が10時台の便に乗らざるを得なくなっている状況が考えられ、利用の妨げになっている可能性があり、結果として「便数や頻度に不満がある」との回答が多くなったものと考えられる。

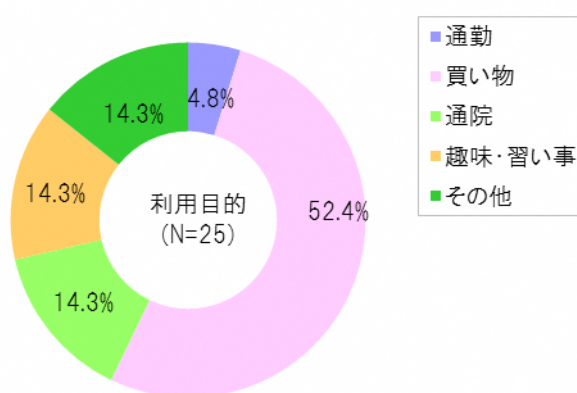
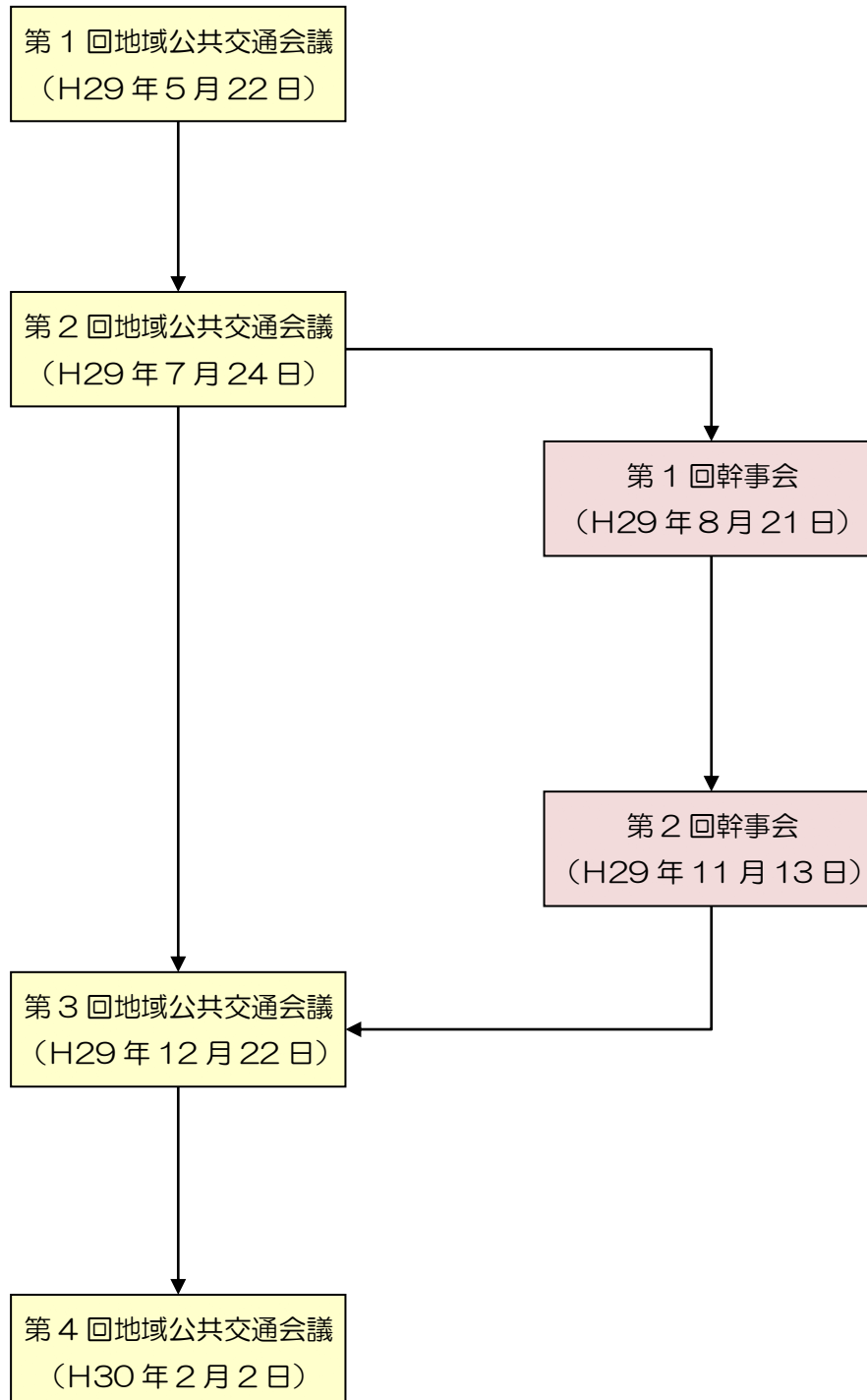


図 「便数や頻度に不満がある」と回答した人の割合

- 次年度以降は、住民座談会などを通じ、買い物目的の利用者を中心とした運行時間帯、運行曜日などの改善を検討していくことで利用促進を図り、各便の利用者数の不均衡を減らし、より効率的な運行を目指すことで、中間市地域公共交通網形成計画の目標へ近づけていく必要があるものと考えられる。

3. 中間市地域公共交通会議の運営支援

3-1 地域公共交通会議の流れ



3-2 会議での決定事項等

(1) 地域公共交通会議

	内容
第1回地域公共交通会議 (H29年5月22日)	・ 中間市地域公共交通会議平成28年度決算及び平成29年度予算案について報告、承認 ・ 平成30年度中間市地域内フィーダー系統確保維持計画案について説明、承認 ・ 中間市地域公共交通網形成計画推進事業の取組について説明
第2回地域公共交通会議 (H29年7月24日)	・ 平成30年度中間市地域内フィーダー系統確保維持計画の修正報告案について説明、承認 ・ 平成29年度中間市地域公共交通網形成計画推進事業委託事業者選定に関するプロポーザル審査委員会の結果報告、承認 ・ 平成29年度中間市地域公共交通網形成計画推進事業の取組について説明
第3回地域公共交通会議 (H29年12月22日)	・ 底井野校区コミュニティバス「なかよし号」運行計画の一部変更について説明、同意 ・ 底井野校区コミュニティバス「なかよし号」利用実態に関するアンケート調査及びモニタリング結果報告案について説明 ・ 中間市モビリティ・マネジメント実施計画アンケート調査結果報告書案について説明 ・ 中間南校区住民座談会報告書案及び改善に向けた方向性について説明 ・ 中間市地域内フィーダー系統確保維持計画及び中間市地域公共交通網形成計画推進事業の事業評価について説明、承認
第4回地域公共交通会議 (H30年2月2日)	・ 平成29年度中間市地域公共交通網形成計画推進事業の取組について報告、承認 ・ 平成31年度中間市地域内フィーダー系統確保維持計画案について説明 ・ 今後の会議スケジュールについて説明

(2) 幹事会

	内容
第 1 回幹事会 (H29 年 8 月 21 日)	・ 底井野校区コミュニティバス（なかよし号）の利用実態に関するアンケート調査の実施方法、及び調査票案の説明 ・ 中間南校区住民座談会の実施方法の説明 ・ 路線バス沿線住民へのモビリティマネジメントの実施について説明
第 2 回幹事会 (H29 年 11 月 13 日)	・ 底井野校区コミュニティバス（なかよし号）の利用実態に関するアンケート調査の結果及び運行実績の報告 ・ 中間南校区住民座談会の実施結果の報告 ・ 中間南校区コミュニティバス（フレンドリー号）の運行実績の報告 ・ 路線バス沿線住民へのモビリティマネジメントの実施について、効果検証内容の説明